

# 北海道浮魚ニュース

平成 22(2010)年度 17 号

2010 年 9 月 17 日

北海道立総合研究機構 水産研究本部  
釧路水産試験場

ホームページ : [http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki\\_index.htm](http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki_index.htm)

## ◎第 2 回太平洋スルメイカ長期漁況予報発表される

9 月 17 日, 水産庁より平成 22 年度第 2 回太平洋スルメイカ長期漁況予報が発表されました。下記のホームページに詳しい予報文が掲載されますのでご覧ください。

水産庁アドレス : <http://www.jfa.maff.go.jp/j/press/index.html>

予測期間 : 2010 年 10~12 月

対象魚種 : スルメイカ

対象海域 : 根室海峡~オホーツク海, 道東太平洋周辺海域, 津軽海峡~道南太平洋周辺海域, 常磐~三陸周辺海域

注) 魚体の大きさは外套長で比較

### ●根室海峡~オホーツク海

(いか釣り、定置網)

来遊量 : 前年を上回る。

漁期・漁場 : 10~11 月が漁期の中心となる。

魚体 : 前年並み。

### ●道東太平洋 (いか釣り、底びき網)

来遊量 : 前年並み。

漁期・漁場 : 10 月まで漁場が形成される。

魚体 : 前年並み。

### ●津軽海峡~道南太平洋 (いか釣り、定置網)

来遊量 : 前年並み。

漁期・漁場 : 10~11 月が漁期の中心となる。

魚体 : 予報期間の前半は前年より小さく, 後半は前年並み。

### ●常磐~三陸海域 (いか釣り、底びき網、定置網、まき網)

来遊量 : 前年を下回る。

漁期・漁場 : 予報期間を通じて漁場となる。

魚体 : 予報期間の前半は前年より小さく, 後半は前年並み。



※ 今年 8 月中旬~9 月上旬の調査の結果, スルメイカは前年同様に道東太平洋から東北地方の沿岸に広く分布していました (図 1)。したがって, 来遊量は前年並みの予報が多くなっています。ただし, 釧路以東の分布密度が特に高かったことなどから根室海峡~オホーツク海への来遊量は前年より多いと予測されています。

また, 8 月中旬~9 月上旬のスルメイカの大きさは, 各海域とも前年と同程度であったことから (図 2), 前年並みの予報が多くなっています。

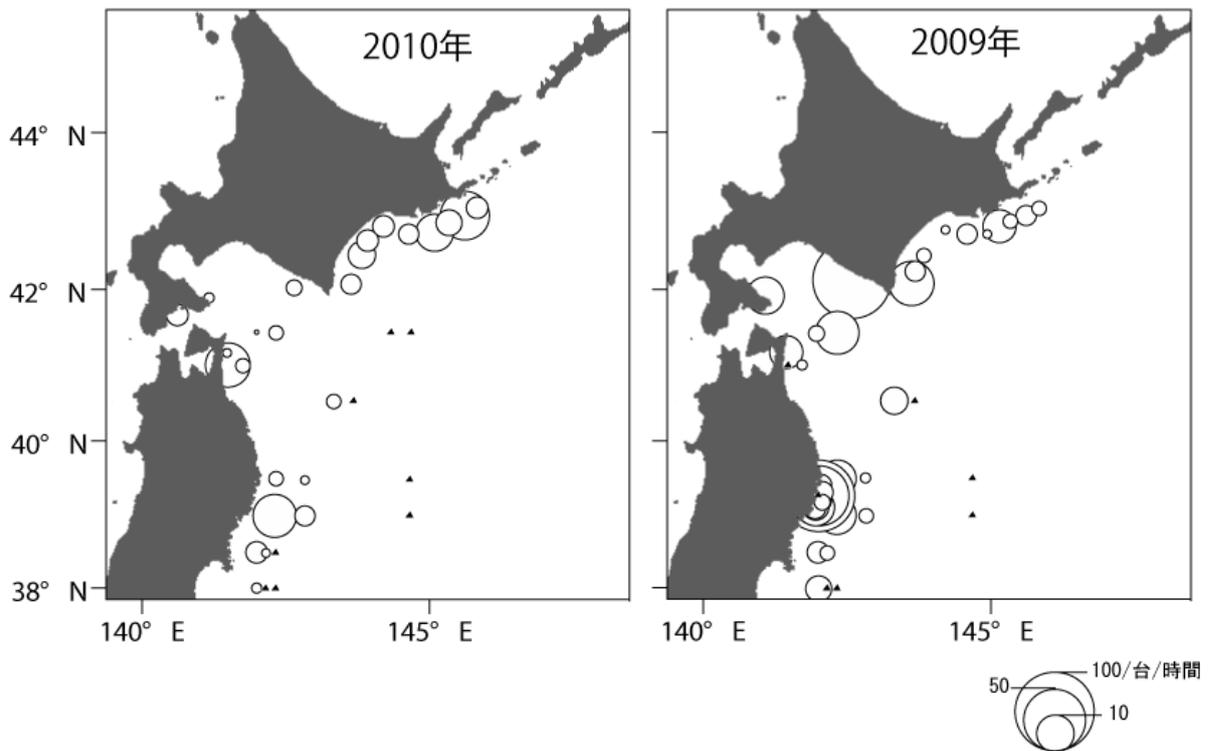


図1 2010年と2009年の8月中旬～9月上旬のスルメイカの分布  
 注)○の大きさは自動いか釣り機1台1時間当たりの漁獲尾数を示し、  
 ▲は漁獲がなかった調査点を示す。

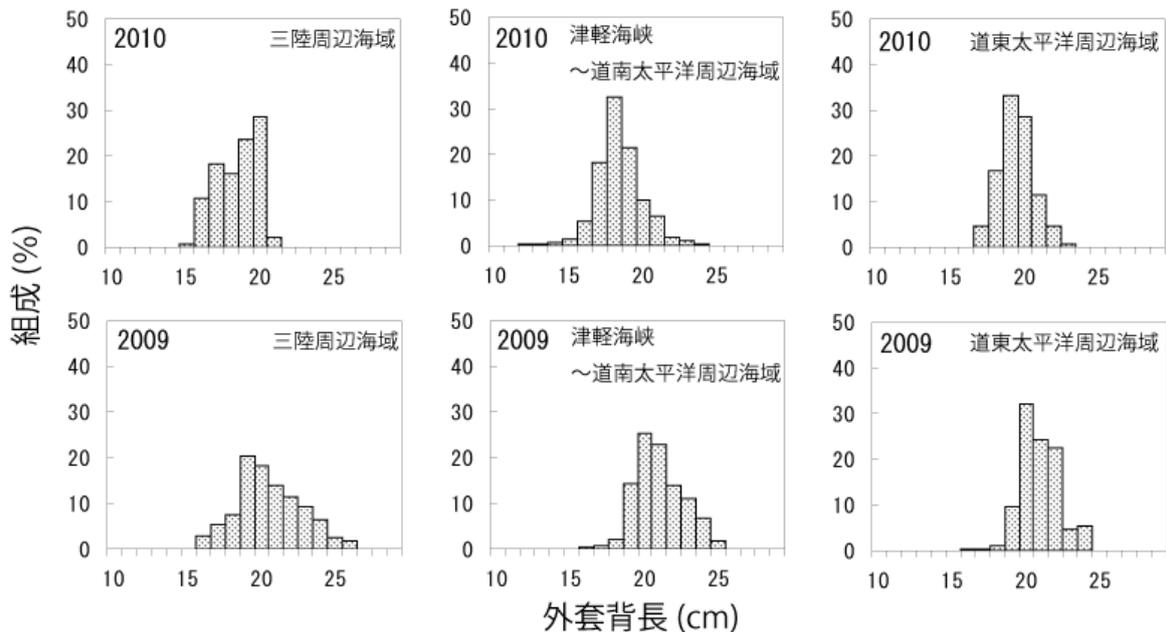


図2 2010年と2009年の8月中旬～9月上旬のスルメイカの大きさ

平成22年度第2回太平洋スルメイカ長期漁況予報は太平洋側道県水産試験場が共同で行ったいか釣りによる調査船調査(図1, 2)などの各種調査結果や漁期前半の漁況などにもとづいて検討されました。図は平成22年度第2回太平洋スルメイカ長期漁況予報資料より。

(文責: 釧路水産試験場調査研究部、TEL:0154-23-6222、FAX:0154-23-6225)